

やまぐち

1月1日



賀正

若い力
明日へ
ダッシュ

(全国大会出場の山口高校サッカー部)



新年のごあいさつ

山口市長 堀 泰夫

市民の皆様、明けましておめでとうございます。新しい年が市民の皆様にとって真に希望に満ちたものとなりますことを念願してやみません。

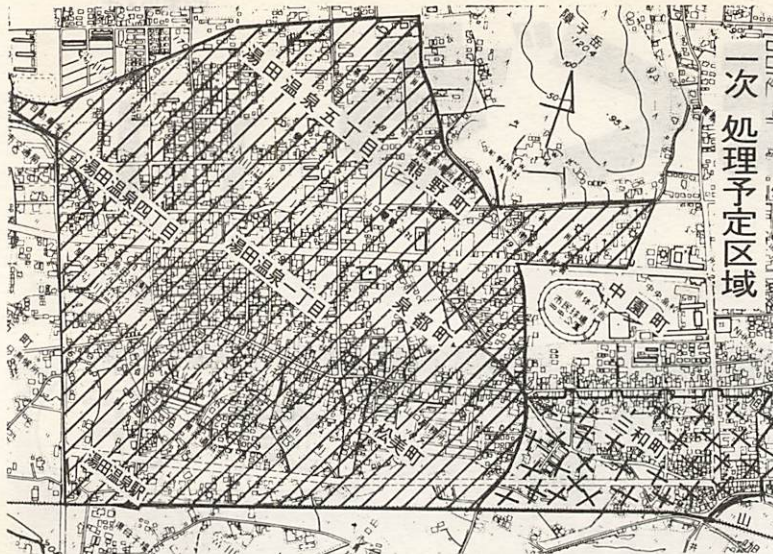
市行政をとりまく現下の状況は、厳しいものがありますが、私は、市も市民もいたずらに他に依存するだけではなく、自らがそれを克服していく意識に目覚め自から考え、行動していく時とも思っています。

本年も、市民の皆様の郷土愛と熱情をくみとり、明日の山口市発展の基礎固めをするとともに、市民福祉の増進に全力を尽す所存でございます。

皆様の御理解と御協力を切にお願いし、新年のごあいさついたします。

浄水センター着工

運転開始57年



昭和56年度末に供用を開始する予定地区。×の部分
は、都市計画街路下矢原東山通り線の工事の進捗よきの
状況によっては、56年度末に供用開始の予定地区。

十二月十七日、
山口市浄水センタ
ー（公共下水道終
末処理場）の建設
工事が着工しまし
た。
平川田屋島の造
成を終わった約六
万九千坪の用地に
昭和六十年までに
一日処理能力五万
一千立方メートルの汚水処理施設を作
ろうというものです。
このうち、一次計画として、
湯田地区を中心とする一次整備
計画地域（約百二十〇）を五十
六年度末に供用開始するため、沈
約五十四億円の巨費を投じ、沈
砂池三つ、管理本館、水処理二
系列、汚泥処理一系の工事を
急ぐものです。
浄水センターの工事が完成す

工事の安全を祈願



れば、昭和四十八年から工事を
始めている山口市の公共下水道
事業は、いよいよ投資効果が表
われることになり、昭和六十年
までには、市街地の大部分の処
理面積五百五十万、人口約六万
二千人の下水道事業が完成する
計画です。市民待望の下水道
も、供用開始へいよいよ本格的
に動きだしました。
堀市長のくわ入れ。工事関
係者ら約百人が集まって工
事の安全を祈願しました。

補正予算など可決 十二月市議会終わる

十二月市議会定例会は、十二
月六日開会、二十一日に閉会
し、一般会計補正予算三億九千
五百余万円の追加や、市営バス
の運賃改定（別稿）などが審議
されました。
最終日に提案された議案は、
市長提案六件、「新生産調整に
対する意見書」など議員提出議
案五件で、提出全議案の二十六
件が可決成立しました。
■予算
追加予算の主なもの、人件
費、電送設備費、福祉費、道路新
設改良費、大内、良城小の仮設
校舎建設費などが主なもの、で、
予算総額は百二十九億八千八百
四十八万八千円となりました。
■条例改正
条例の一部改正では、職員
給与改定に伴う一連の改正、山
口市と畜場の使用料の改定、陶
丸尾に建設された市営住宅十戸
を条例に加えるものなどが主な
ものです。
■固定資産評価委員
また、任期満了に伴う固定資
産評価審査委員会の委員につ
いて、中本富夫（64・桜島一丁
目・新任）稲田貞二（68・江崎・
再任）野村治輔（81・湯田温泉
一丁目・再任）野村博（57・鑄
銭司・新任）吉野始（53・陶・
再任）の選任が決まりました。

市営バス運賃を改定

一月十日から

このたび、県下一円の乗合
運賃の改定で、市営バスの運
賃を次のように改定します。
■市内均一運賃は百円に
基本運賃を一律当たり、約
二十六割アップして二十一円
五十銭とし、最低運賃を六十
円を七十円に、市内均一運賃
を八十円を百円（九月末日ま
では九十円）に改定します。
（主な路線運賃は別表の通り）
■定期券、回数券の取り扱い
△定期券▽運賃改定の前日ま
でお買い求めの定期券は、券面
期間中使用できます。
△回数券▽運賃改定の前日ま
でお買い求めの回数券は、新
運賃との差額を支払ってご利用
ください。

おもな区間の新しい運賃

行先	山		口		市民会館前		湯田温泉	
	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新
大歳	150	190	120	150	80	110		
柳井	240	300	210	260	170	220		
郡表	280	350	240	310	210	260		
小宮野	90	120	90	120	130	160		
新宮野	130	170	130	170	170	210		
井田	220	280	220	280	250	320		
井田	270	340	270	340	300	380		
井田	160	210	130	170	100	120		
井田	200	250	170	210	130	170		
西平	130	160	100	120	60	70		
西平	180	220	150	180	110	140		
西平	230	280	190	240	160	200		
西平	110	140	80	100	80	100		
西平	90	110	80	100	80	110		
西平	120	160	120	160	160	200		
西平	380	470	350	430	320	390		
西平	430	550	400	490	370	450		
西平	500	600	470	550	440	550		

(注) ●……は昭和53年9月30日までは90円。

山口市成人式

一生に一度の成人式によう
昭和五十三年成人式を、次
のとおりに開催いたします。
新成人該当者（昭和三十三年
四月二日から三十三年四月

お正月行事

いま、むかし

— 祖先の生活をふり返る

新しい年を迎え「今年こそ良い年でありますように」と思うのは、古くからすべての人びとの願いです。そのような思いで行っていた正月行事は、祖先の生活そのものです。お正月に際し、それらの行事をしらべてみると、祖先の心にふれてみましょう。

農家が数軒あつまり、猿尾（すきを牛や馬につける縄）や引緒などを一緒にしない、その後酒食をともにする行事です。吉敷中尾などでは今も猿尾打ちの行事がなされ、出来上った猿尾は、猿田彦の石碑に供え、その年の豊作を祈ります。

七日は七日正月といって、七草がゆをたいて神仏に供え、家中でたべます。

封縄などを作って持参し、「トヒ、トヒ」といって祝意を表する。引き受け側ではあらかじめ、これを予期して、ざるに祝儀や餅などを入れて門口におき、桶に水を入れて隠れてまっている。とひがそれをとろうとすると、隠れていた家の者が桶の水をそれにかける。このとひの行事も昭和のはじめ頃からなくなりました。

とき 一月十五日 午前十二時二十分から
ところ 市民会館大ホール
主催 山口市、山口市教育委員会
式次第 市長あいさつ、お

小学校新入学児童 入学通知・健康診断通知

したが、届きましたか。

新入学該当児童は、昭和四十六年四月二日から四十七年四月一日までに生まれた人、五十二年以前の新入学児童で、就学義務猶予の認可を受け現在入学していない人、また、日本国籍を有しない児童で、入学届に該当し、保護者から申し出があった人です。

通知書は、十二月末日まで届くよう、送付していますが、通知の届かない人は、市教育委員会学校教育課へお問い合わせください。なお、健康診断の日程は、次のとおりです。



うれしい新入学ももうすぐです。

五十二年四月、小学校に入学される児童に、入学通知書、健康診断通知書を送ります。

正月には門松を建てることから、元日から三日までの間を松の内といいますが、昔は門松は武士の家だけに限られ、普通の民家では吉相といわれ、長い松を山から切ってきて、家の後の屋根に立てかけたといわれます。これは松にこの年の歳神をむかえるという考えからのことです。

床の間には台を置いて、ウラジロの葉を裏側を上にして重ね、その上にお祝い（かさね餅）をのせ、さらにコンブ、ユ

二日は書初め、農家ではない初めといつて縄をなっています。このない初めは四日頃、猿尾打ちといっしょに行うところもありました。猿尾打ちとは、

十四日にはドンドといつて、広場で輪飾りなどを焼きます。また十四日の夜はとひの行事がありました。これはその前年に慶事があつた家に、わら馬、



— たこあげ大会 —

新年のおよろこびを申しあげます。
「一年の計は元旦にあり」といわれます。一年の計画をしっかりとて、新しい飛躍の年としたいものです。

— 1月のこよみ —

- 1日 元日・新春鴻の峰登山・陶が岳登山
- 2日 初荷・書初め
- 4日 公務始め・市営バス九州三社詣で
- 8日 消防出初式
- 9日 3学期始まる
- 14日 どんどこ焼き
- 15日 成人の日・市民ロードレース大会・お年玉つき年賀はがきのお年玉くじ抽せん
- 20日 大寒
- 21日 山口地方教育関係者新年懇話会
- 26日 文化財防火デー
- 29日 山口市駅伝大会

一日 程

小学校名	日		時 間
	月	日	
仁宮	1	24	12.30 ~ 13.00
保野	1	31	13.00 ~ 13.20
大宮	1	19	13.00 ~ 14.00
大白	1	19	12.30 ~ 13.00
湯田	2	14	12.30 ~ 13.00
良田	1	24	12.00 ~ 12.30
大城	1	26	12.20 ~ 13.00
平川	1	18	12.00 ~ 13.00
小川	1	26	12.30 ~ 13.00
大内	1	26	12.00 ~ 13.00
小司	1	25	12.30 ~ 12.50
大陶	1	24	12.30 ~ 13.00
名島	1	20	12.20 ~ 12.50
二川	1	17	13.00 ~ 13.20
嘉進	1	26	12.10 ~ 12.20
興山	2	2	12.30 ~ 13.00
佐			

来る年に 市民の感慨

交通事故防止に取り組んだ
山口警察署交通課長



町田 保さん(滝町)

年々歳々、人同じか
らず、さる年、くる年
への感慨を、昭和五十
二年活躍された市民の
みなさん三十人に、う
かがってみました。
さて、みなさんの感
概は如何でしょうか。

▼五十二年前半で、ワースト
三位になるような交通事故死が
相次ぎ、この「重み」により回
されたような一年でした。

六月の市民総決起集会が反響
を呼んで、事故が少なくなった
ことは、幸いでした。
今年も「馬」のように走りま
わり、心のふれあう事故防止を
訴えたい。

▼家族の対話不足の世相は、
おさむい限り。親子の断絶は、
青少年の犯罪を生む事例が多い
のです。

勲五等瑞宝章を受章した
元山口赤十字病院看護部長

桜井トシエさん(三の宮)



▼昨年は思いがけぬ叙勲で、
感謝と光栄の年でした。今にし
て職業をもっていたことがよか
ったと有難く思っています。私
は良い先輩、同僚、後輩にめぐ
まれ、いつもたのしい仕事があ
ってきたことを喜んでいきます。

▼老人医療、成人病のことが
今論じられています。病気が
長くなると闘病意欲が失われる
ようになります。これらの人に
対して医療制度の改善がされ、
家庭にいる病人に対しても、医
療制度がゆきとどくような行政
を進めて欲しいと思います。

五十二年のただ一人の
新規就農青年



小林 智さん(仁保)

▼農業技術研修所を経て、両
親のもとで、農業についたこの
一年、主に養豚を手がけ、それ
の確信を得ました。

しかし、農業とは息の長い産
業とつくづく感じました。
▼消費する人は、農産物を生
産する場と人へも心を動かして
欲しい。高い、古いとかいろいろ
いう前に、生産の現場をよく
みて欲しい。

アーチェリーのナショナル
チームに選ばれた山大王
石津裕子さん(平川)



▼大きな大会で、初日はいい
成績を残したものの、二日目か
らダウン。精神力を含めた体力
不足をしみじみ痛感しました。
今年こそ、結果はどうあれ系
統だてて、納得できる練習をし
てみたい。

▼目標に安易に妥協しないこ
とが必要と思う。いつも高い目
標を持ち続けようと後輩に呼び
かけたい。

鷺流狂言伝承者

梶山亀久男さん(吉敷)



▼昨年は公民館のおかげで市
民にPRができ、三人で練習し
ていた練習会に新しい人が参加
し、活気が出てきました。これ
で途絶えていた発表会が四月に
できる、など、鷺流狂言に明日
への活力がでて、うれしい年と
なりました。

▼鷺流狂言は庶民の中から生
まれた芸能です。月二回行っ
た練習会や発表会にはたくさん
の市民の人に観ていただいて、理
解をしていただきた。

早朝野球県大会に優勝した
山口ガス 野球部長

菅原福雄さん(黄金町)

▼昨年は会社の合併が決ま
り、なにか記念に残ることを一
と、みんなの和を結集して、七
つの大会に優勝、全国ガス会社



の試合にもベスト4に残ること
ができました。チームは和とマ
ナーを大事にしています。合併
して山口支店野球部として今後
とも活躍したい。

▼人に愛され、信頼される
人、また、何事にも屈せず、協調
性のある人がよき社会人です。

県少年剣道大会で
準優勝した鴻南剣友会

山県千加さん(吉敷)



▼剣道を習い初めて一年半で
すが、初めはつらかった。女子
が少ないので男子と一緒に練習
していますが、県下では強い人
が多いので、一生懸命練習して
三月の大会には優勝したいし、
剣道で学んだことを生活の中に
生かしたい。

▼女流剣士が少ないので、勉
強だけでなく、ぜひ、仲間にな
ってください。

六十五才で高校(通信制)を
卒業した

豊田 暎さん(平川)

▼若い頃から、勉強したいと
思っていただけに、高校卒業と
いう一つの区切りができて、い
い年でした。今数学、英語を勉
強中ですが、悲しいかな、単位
に関係ないで進まなくて。
若い学友、先生の親切が身に



しみた年でもありました。

▼年をとると、人生も終わっ
たような気になって。例え、
明日一日の命であっても、希望
を持って、勉強し、社会のため
に尽くす気構えを失ってはいけ
ないと思う。

市美展の「書」で教育長賞
を受賞した

福永良子さん(宕留町)

▼書を追求する人も、快心作
つてないものでしょうけど、入
賞作も、快心の作とはいえない
ものでした。反省しています。
次は、「出展はすまい」と考
えていましたが、最近、これは
おろかなことと悟りました。



▼「書」はよく「自然の中に
素材がある」といわれますけ
ど、「いいもの」にふれる機会
が山口は少ない。展覧会など
で、いい先生の「書」がよくみ
られるようにしたいものです。

去る年に 30人の



山口駅舎改築に取り組んだ
山口管理駅長
岩戸幸治さん(惣太夫町)

▽さる年の感慨
と新しい年へ
の抱負
▽世の中にひと
言

おうかがいして、お
たずねしたことは、次
の二つのことです。

▽ 国鉄入社三十八年、振り出しの、故郷の山口駅舎改築に取り組んで、本当に幸せ。安全第一で、県都山口の駅舎を完成させることで頭が一ぱい。反省も抱負もすべてこの事業がすんでからです。

▽ 若い人よ、もっと目を開けて。我々先祖は世のため何をしたか、如何に礼節をおもんじて行動したか、この二点をふまえて、日常の行動をして欲しい。

初めての広聴、広報
モニターをつとめる
美和里子さん(大内)



▽ モニターについての勉強不足で、自分の活動を通じてだけしかお知らせできませんでした。今年はあらゆるものに目を向けて、活動したいと思っております。

▽ 女性は家庭をあずかる立場上、もう少し消費生活に関心をもって、毎日の暮しを見つめなおす必要があると思います。

いま、山口市では公民館のあり方が問題になっていますが、公民館はグループが自主運営できるように指導し、グループも自主運営できるように努力する必要があります。

青年法政大学OB会を
組織した
有富久雄さん(鑄銭司)



▽ 折角、青年法政大学で学んだ仲間、勉強は一年で終わるものじゃないって、会を組織したもので、発足ホヤホヤ、会もあまり活動がでなかつた。反省しきり。今年こそ。

▽ 世の人よ、もっと若者の立場、意見を尊重して欲しい。また、若者も、しっかり勉強して、政治へ参加しよう。

主婦の「ハム」で観光
案内に活躍した
林 秀子さん(芝崎町)

▽ アマチュア無線の資格をとって、ささやかな主婦ハムの楽しみと「おいでませ山口」の観光案内をしています。家の中にいて楽しめること、風光と情趣の山口を紹介するささやかな郷土愛の発露です。今年ももっと郷土を勉強し、温かい心のこもった観光案内をしたい。

▽ 観光するって、もっと地についたものであって欲しい。中也、山頭火など交友相手は、名すら知らない。読書量の不足する現代人の一面をみる思い。

ぶどう(ベリーA)の
種なし栽培に成功した
栗林 明さん(仁保)

▽ 苦節十年、ほぼ理想通りの種なしに成功。それなりの自信もついた。人間やってやれないことってないでしょう。今年栽培面積を三倍に広げます。

▽ 人を悪くいって、自己批判をしない人が多い世の中。もう少し、謙虚な気持で、自己反省をすることが必要です。



十七年間、早朝ランニング
を続ける
和則夫さん(嘉川)

▽ 「健康」を自分の力でーと犬の散歩を兼ねて、会社勤めのかたわら、早朝約一*のランニングを続けた。犬が老死し、退職した今も、健康作りの早朝の時間三十分はかわらない。体調に合わせてスピードを調節。

人がめいわくをかけないーこれが私の生活信条です。

▽ 民主主義と個人主義をはきちがえている人が多い。利己主義があまりにも横行する世の中

は、いやなものです。



自衛消防クラブをつくった
白石婦人会長
山口富美子さん(駅通り)

▽ 白石地区は、市内で火災発生件数が一番多い。台所から火を出すまいと、婦人消防クラブを結成しました。

▽ 発会以来、研修などで火の恐ろしさを認識。これからは防火の研修会を開いて、主婦の立場から防火につとめたい。

▽ 市などが開く研修会などには、市民が積極的に参加して、市の行政や防火など知らなければ……



入植五十年目の米作りを
終えた
土井鉄一さん(名田島)

▽ 農業も六人の子もほぼ順調念願のアメリカの酪農視察もできましたし、いい一年でした。

米の生産調整って、残念だが、米が余りや協力せんと仕方ない。酪農を拡大しようと思

▽ 農業の協同化が以前は進んだと思うが、今はだんだんずたれている。高い農機具を個人で買っても、償却倒れは眼にみえている。落着いて考えてみる。ことが必要と思う。



ファミリコンサートを
開いた
山崎凱干さん(大内)

▽ ファミリコンサートを開いたのは、あの程度のことながら我が家でもと思ったのが、きっかけ。大好評で各家庭に波紋を呼んだのは、うれしい。

▽ 音楽はピアノがひけなくてもハーモニカや笛で楽しめますし、家族で合唱など音楽は手軽に楽しめるものです。夜のひと時テレビを消し、子ども達が歌える歌を家族みんなで歌おう。



親子4人のコンサート
(4月3日、視聴覚センター)

自宅に児童文庫を開いている

井上芳佐さん(吉敷)



▼子どもの夢は、金と家。なりたいものって「何もない」というのが多い。大人にはとうとう失望しているが、未来をになう子どもがこれでは。人間教育は子どもから、家庭から。こんな原点を求めて、及ばずながら夢を求め続けています。

▼高い次元の人生観を持ち続け、可能性を追求すること。事なかれ、安易な妥協をする人には進歩はないと思う。

米の粉でビスケットをついた四ツ葉グループ代表

平田節子さん(小鮭)



▼小鮭の文化祭に出品ということが契機で、米の粉を使ってビスケットを作りました。

余る米の有効利用のためにもこの願いもあった訳です。

ひとつのものを会員で作るということは、グループの和が

きて楽しいものです。今年はいしくて長持ちのするものにと研究中です。

▼現代はおやつ代といって子どもにお金を与える時代ですがお母さんの手作りの菓子など与えてみてはどうです。親子のつながりを濃くするためにも...

お年寄りの自転車コンテストの優勝者

本永敏徳さん(嘉川)



▼自転車は、私の最も重要な交通手段です。コンテスト出場のため、一生懸命、勉強し、知らなかったことも体得した。

優勝して、責任感もでて、観念的に交通ルールが私を支配するようになった。

▼交通戦争は続く。交通量の激しい道路では、自転車にはお年寄りはのらない、また、年をとったら、自転車にはのらない方がよいと思う。

市民ロードレース十キロで優勝した

宮本節夫さん(八幡馬場)

▼市民ロードレースに優勝してから、その後、走りこみが足りず、大きなレースに出場できなかった。今年は四十二・一kmを二時間二十七分を切って、国際マラソンに出場したい。

▼各地で走ろう会が行われて



いますが、準備体操は確実にして走り、終りには整理体操を念入りにしてください。

三十一歳で民生委員に就任した

弘中和子さん(平川)

▼私にとつて大役ですが、若さでぶつかりたい。民生委員という観念の中には、割と年取った人の仕事というものがあありますが、後に続く人のためにも未知数を、知数にしたい。ほかに取り柄はないが、こまめに世話することは得意です。



▼近頃、人間不親切、冷たい人が多い。利己主義もいかにげんにしないと、みんなが住む人間味のある社会はできないじゃないですか。

長沢池の白鳥、黒鳥の世話をする

向原巳次嘉津津さん(鑄銭司)

▼昨年は黒鳥をもらい、また白鳥のひなも生まれ育て、にぎやかになりました。しかし日

照りつづきで、秋頃から池の水がへって困っています。飼育場の水が一年中変らず保てるようにしたい。こんなに水が少なく春の巣ごもりが心配です。



▼花神ブームとかで観光客がここにも多くなりましたが、紙くず、空きなど捨てないマナーがほしいものです。

早朝野球の育ての親

藤村春彦さん(米屋町)

▼体育協会に関係して二十五年になります。昨年は早朝野球も十年たち、同様に世話をしている万歩クラブも十三年、いよいよ盛んになってうれしいことです。



▼いま、市民体育の各クラブは自主運営ができるものも多いですが、OBのいないクラブなどには、やはり市教委、体協などの指導が必要。今後とくに中高年層の健康づくり、体協がどのように取り組んでいったらよいか、努力をすべきだと思います。

市行政の限界と市民の役割

接点を考える

何も市の財政が苦しいからというだけではありませぬ。おたがいやるべきことをやり、さらに同じ土俵で知恵をあつめてゆくなかに、結局は自分のためにも住みよい山口市になる—ということではないでしょう

何かも市役所へでは： 談室に寄せられた苦情、要望、意見(提言) 相談ごと(個人的な相談を含む)、問い合わせなどは約七万件。文書による陳情が六十件。内容はさまざまですが、いつの時代でも「相談ごと」には、その時代の生活のあり方：世相を反映した、氷山の一角といった一面をもっているものです。

少し極端な言い方ですが、いま、世相の一面の「何かも市役所(行政)にやってもらう」といった考え方が、たしかに経済成長の著しかった時代は、市の財政にもある程度のゆとりがあつて、市民のいろいろな要望・欲求にお応えできました。いま山口市に限らずこの市(国も県も)も財政的に大変苦しく、今後さらにその厳しさが深まってゆきそうです。どんなに苦しくても、市としてどうしてもや

らなければならぬことがあります。また、住民のみならず、市民の要望・欲求にも大事なことはお応えしてゆかなければなりません。そこで、どこかに、線を引いて、おたがいの合意の中から、選択をしてゆかざるを得なくなりますが、それは「何をどういう方法で行うか」、住民サービスであり、真に住民福祉を高めてゆくことにならう」ということです。

「当たり前」の苦情が来まことから大きな効果へ 「不燃物置き場がきたなく近所の者が迷惑する」といったこと。街角でよく見かける光景です。燃えるものもいっしょに乱雑に積み上げてあります。たしかにごみを集めて処理するのは市の仕事です。しかし、かき出さず立派な「きめられた期間内に出してもいいもの」だけをきちんと出す」ということは当たり前のことです。

市役所が

吉田松陰、大村益次郎など
維新の歌シリーズの作詩・
作曲をした

青木健治さん(駅通り)



観光バスガイドで
活躍した山口女子大生

岡田豊子さん(折本)

▼ まかせられた「仕事」をし
たことで、緊張の日々。でも、山
口の史跡を勉強し、働いて得る
お金の価値を認識したりで、
すこく充実感を覚えた一年でし
た。

▼ 今年、おけいこ事の師範試
験に挑戦、張り切っています。



▼ 女子大生にも、仕事の窓口
をもっとひろげて欲しいし、女
性の仕事の価値観を高めて。

雑誌「郷土の灯」を発刊した
松田省三さん(後河原)

▼ 昨年は人々の物欲への執着
があまりにもひどく、その弊害
が出てきたように思われます。
その我欲は国際的には、わが国
ばかりの利益を得ようとするこ
とにもなり、反省すべきことと
す。物も大切だが、お互い心の
ふれあいこそ大切で、これを忘
れてはいけません。

▼ 物質的なものばかりでは本
当に心のゆとりはもてません。
そう考えて、雑誌を発行しまし
たが、たいへん多くの人に喜ん

▼ 新しくできて日が浅いた
め、宣伝が行き届かず、初めは



市内で初めての
夜間保育園の保母さん
山崎マサエさん(大内)



で受けいられました。このよ
うな文化運動をますます進めて
いきたいと思います。

▼ 足もとを見ることが必要。
つまづいてからでは遅い。その
ことで郷土をもう一度見なおし
たい。文字を生活の中にとり入
れて、自分の心を自分でみなお
したいと思います。

四名でスタートし、現在は七名
になり明るくい見通しがたちまし
た。せっかく良い施設ができ、
伸び盛りの子ども達とのしつても
厳しくしていますので、十分活
用してください。

市の立場からすれば
「近所迷惑する」とい
う言い方は市への「苦
情」とは思いません。
ご本人がそれを市への
「苦情」と思っている
ところに、いまの時代
のむつかしさがありま
す。

花だん作りに取り組む
大里子ども会育成会長
小野吉恵さん(秋穂二島)



▼ 子ども会で花だん作りに取
り組んで十四年、苗作りや花の
種類、配色には毎年苦労してい
ます。親と子が一緒に花だん作
りをするのは、親子のつなが
りを深めるには良いことです。
▼ 米の生産調整が話題になっ
ていますが、専業農家として安
心して作付けできる指導を。

た。「台所の流しが詰
ったので、どうにかし
てもらえないかー」
「流し」であって「水
道管」ではありませ
ん。

市役所が

現にこの当たり前の
ことをもう一歩すすめ
て、分別収集に心がけ
お金になるものはお金にして
町内の活動経費にしている
ところが相当あります。
このようにしますと次のよ
うな「効果」があります。
・市が集めるごみが減る(経
費が節約できる。当然他の
仕事ができる)
・お金が入って自分たちの地
域活動を充実できる。住み
よい地域社会となる。
・物をたいせつにする気持が
高まる。
・お互い不快な思いをしなく
てすむーといった「一石三
鳥」です。ある町内ではこの
売り上げが年間十万円以上
もなり、子ども会活動経費に
あてられているという事です。
こうしたことは一例で、道
路や下水、その他日常生活の
中から出てくるさまざまな要
望・欲求に「行政サービスと
は何か」ということを考えさ
せられる問題がたくさんあり
ます。

この場合、自分で出
来なければ「どこに頼
んだらやってもらえる
だろうか」の問い合わ
せなら分かります。厳
しい言い方ですが、若
い世代、とりわけ若い主婦の
中にまず「自分で考える。そ
して実行し、責任もつ」と
いった、市民としてごく当
り前の意識が弱いようです。
「市民である」ということ
は、まず自分で考える。そし
て自分でできる(すべき)こ
とは自分でするーといった
「個人」としての意識・生き
方が第一段階です。
次に、自分一人では出来な
いが近所となり、町内・部
落、またグループなどで協力
してやれることはやってみ
てみます。ここに一つの「土俵」が
できます。さらに自分たちだ
けでは十分ならならぬ
ので、市役所も同じ土俵に上
がってもらおうーということ
です。お互いの知恵と力と金
を集めて一つのことを「組み
立ててゆく」これがコミュ
ニティづくりです。

ある若いお
母さんが次の
ような電話を
かけてしまし
ます。
「市役所まかせ」という考
え方の中に、自分のため
の「住みよい地域社会づくり
のたいせつな「芽」を自分で
摘んでしまうのは残念なこと
です。

案内



初湯×スキー×市営バスの旅

九州三社詣と

原鶴温泉初湯の旅

日時 二月四日、五日午前

八時市民会館前発

コース 宮地嶽―太宰府―

原鶴温泉(9)、博多―関門大

橋―山口

料金 大人一万八千五百円

小人一万三千五百円

大山スキーの旅

日時 二月三日、五日午後

十時市民会館前発

コース 山口―大山(10)―山

口

料金 一万六千五百円

申し込み 一月二十八日ま

でに、山口市交通局(10)出口

(二)五五五へ。

市民ロードレース大会

日時 一月十五日午後一時三十分開
会式、二時から順次スタート

場所 県陸上競技場で開会式、吉敷

折り返しコース

種目 一般(五・十歳) 壮年(三

十歳) 女子(三・五・十歳) 小学

(五・六年) (二・三) 小学生は父兄

同伴者に限る。

申し込み 一月十日までに、年令・

住所・種目・勤務先、学校名を記入

し、亀山町二―市教委体育課へ。
その他 選手受けは、陸上競技場
玄関。ゼッケンは主催者で準備。

庭園や機械など

償却資産の申告

1月は償却資産の申告の月です。償却資産をおもちの人は、1月末日までに、申告することになっています。

すでに送付しています「用紙」で、1月31日まで申告してください。

なお、償却資産とは、土地、家屋以外の事業用に使われる次のものをいいます。

× × ×

- ▷煙突、庭園などの構築物 ▷産業機械などの機械装置 ▷フォークリフトなどの車輛運搬具 ▷ロッカー、金庫などの工具、器具、備品 ▷漁船などの船舶

母子家庭のみなさん

福祉資金の貸付



母子(寡婦)家庭のみなさんに明るい家庭づくりと自立を助けるため、次のような貸付金制度がありますので、ご利用ください。

母子福祉資金

- ・20才未満の児童を扶養している配偶者のいない女子、および配偶者が精神または身体の障害により長期にわたって労働能力を失っている女子
・20才未満の父母のいない児童

寡婦福祉資金

- ・配偶者のいない40才以上の女子
・寡婦の扶養している20才以上の子ども
申し込みや詳しいことは、市役所福祉課へ。



仲間がみんなで待っています(三の宮保育園で)

保育園 入園児を募集します

四月から保育園に入園を希望されるお子さんを募集します。入園できる人は、お母さんが勤めにでられたり、病気などの理由で、家庭で保育できない場合に限られます。

保育園と所在地

- 山口(旭通り)一丁目 東山(東山二丁目) 大内(矢田) 陶(丸尾) 楠木(楠木町) 三の宮(芝崎町) 山口第二(三和町) 嘉川(岡屋) 嘉川隣保館(免地) 佐山(小路) 乳児保育所(大手町)

湯田保育所(今井町) 平川保育所(平井)
申し込み手続き
申請書の配付は、一月十七日から二十一日まで、市福祉課で。申請書の受付は、一月二十五日から二十八日まで、市役所市民ホールで。

なお、陶、嘉川、嘉川隣保館、佐山の各保育園は、申請書の配布・受付ともそれぞれの保育園へ。期間は、それぞれ前記の期間です。

無料法律相談

。とき 一月九日午後一時から。
受付は、午後〇時三十分から三時まで
。ところ 中央公民館
市が隔月一回開いているもので、土地売買相続など、法律上の問題について、弁護士さんが相談に応じるものです。
また、あわせて山口

県勤労者住宅資金

建設資金を融資します

▽対象 県内の事業所に五年以上勤務し、中小企業に勤めている人で、住宅金融公庫資金の融資を受ける人
▽貸付額・利率 三百万円以内、年六・七五割
▽申し込み 十二月二十日から貸付枠に達するまで、信用金庫で受け。
くわしいことは、信用金庫ま

家計調査

調査地区を指定

家計調査は、一般家庭の収入や支出を調べ、経済政策や社会政策に役立てるもので、国の指定統計です。
調査にあたった家庭には、調査員がお伺いしますから、ご協力くださるようお願いいたします。
なお、五十三年の市内の調査地区は次のとおりです。
荻町。楠木町。赤妻町。道場門前。駅通り。黄金町。本町。

テレビ番組消費とくらし

放送日時 一月四日午前十一時三十分から十五分間
テーマ「豊かさ、便利さとは」
山口放送
放送日時 一月十九日午前十時三十分から十五分間
テーマ「知っていますか、取り扱い絵表示」

山口市から 広報車が贈られる

消防本部

十二月九日に、山口市消防本部に広報車(写真)が山口市消防本部から贈られました。
これは、下関瓦斯、小野田瓦斯、山口瓦斯の三社が合併し、「一口合同ガス」として発足するのを記念し、火災予防に役立てて、と寄贈されたものです。



十二月九日に、山口市消防本部に広報車(写真)が山口市消防本部から贈られました。これは、下関瓦斯、小野田瓦斯、山口瓦斯の三社が合併し、「一口合同ガス」として発足するのを記念し、火災予防に役立てて、と寄贈されたものです。

Table with 10 columns: 1月の休日当番医, 外系, 内系, 病院名, 電話, 病院名, 電話, 病院名, 電話, 病院名, 電話. Lists various hospitals and their contact information.

診療時間は 8時30分から17時30分

歯科は 県口腔センター 吉敷下東(3・1820)へ。 9時~15時